令和７年度地方創生交付金の効果検証について

地方創生拠点整備交付金

担当課	事業名	事業内容	成　果	実績額 （R4年度整備事業費）	重要業績評価指標 （ＫＰＩ）	R7目標値	R7実績	達成率	外部有識者からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針
政策広報課	道の駅「蓮如の里あわら」整備事業	北陸新幹線芦原温泉駅開業に合わせ、福井県の北の玄関口、石川県の南の玄関口として、単なる通過点ではなく、目的地となる、道の駅「蓮如の里あわら」を吉崎地区に整備する。また、地域振興施設についても地域の核として持続可能な管理運営手法を検討し、実施する。	地域資源を活かしたイベント開催や情報発信を行い、道の駅の認知度向上と利用者の増加を図るとともに地域の魅力を広く発信する。また、地域の農産物や加工品等を活用した道の駅独自の特産品開発を進めることで、来訪者の消費拡大につなげる。さらに、周辺観光地との連携強化により、地域全体の周遊性向上を目指す。加えて、施設運営の安定化と継続的な賑わい創出に向け、指定管理者との連携体制を強化し、持続可能な道の駅運営を推進する。	353,114,900円	道の駅の年間利用客数	342,000人	387,475人	113.3%	総合戦略のKPI達成に有効であった。	認知度の向上および利用者数のさらなる増加を目指し、イベント開催や情報発信の強化を図るとともに、あわら市の特産品や地元産の野菜・果物の積極的な販売を通じて、地域の魅力を広くPRする機会を創出していく。一方で、吉崎御坊跡をはじめとする周辺観光施設との連携が依然として課題であり、相互送客を促進するための仕組みづくりが求められている。このため、季節ごとの特産物や地域文化を活かしたイベントを継続的に開催し、話題性のある取り組みを通じて市内外への魅力発信に努めていく。また、指定管理者との連携をより一層強化し、安定的かつ持続可能な施設運営の推進を図っていく。
					道の駅の年間売上高	138,000,000円	197,739,030円	143.3%		
					吉崎の年間観光客数	390,625人	428,449人	109.7%		

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）

担当課	事業名	事業内容	成　果	実績額 （R7年度事業費）	重要業績評価指標 （ＫＰＩ）	R7目標値	R7実績	達成率	外部有識者からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針
観光振興課	観光まちづくり推進事業	あわら市観光まちづくりビジョンに基づき、あわら温泉街の魅力を高めていくために、市と地元が一体となって、官民連携でまちづくりを進めることで持続可能な地域、さらには、市民も誇れる滞在型温泉地を目指すため、ソフト・ハード両面の取り組みを進めるとともに、温泉街を中心とした持続的なエリアマネジメントを行っていくための組織を設立する。	あわら市観光まちづくりビジョンに基づき、あわら温泉が目指すべき将来像を見据え、滞在性・回遊性の向上に向けた社会実験を実施した。それらの検証結果や「あわら市観光まちづくりビジョンアクションプラン推進に向けた準備委員会」、「あわら湯のまちみらいプロジェクトデザイン会議」また、「あわら市観光まちづくりビジョン推進会議」における議論を踏まえて、目指す将来像やそれらを達成していくプロセスを「あわら温泉街再整備基本計画（案）」として取りまとめた。	49,995,000円	観光入込客数	197.6万人	206.4万人	104.5%	総合戦略のKPI達成に有効であった。	令和８年度以降は、基本計画の実現に向け、あわら温泉街の魅力向上を図るため、ソフト事業として夜間景観の創出や回遊施策の実施、地域と連携したあわら温泉湯のまち広場等の活用を進める。また、ハード整備として、温泉街回遊の拠点及びアイストップとなる（仮称）湯～わくStandの整備や、滞在性の向上と敷地内の賑わい創出を目的にあわら温泉湯のまち広場の再編に取り組む。さらに、温泉街を中心とした持続的なエリアマネジメントを推進するため、組織や運営体制の構築について検討する。
					外国人観光宿泊客数	2.4万人	1.1万人	45.8%		
					あわら温泉旅館RevPAR	48,031円	45,661円	95.1%		